

[前画面へ戻る](#)

分野系列	認定科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	インターンシップ I
講義名(英字)	Internship I
担当教員	認定
必修/選択	なし
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	実際の企業や団体で就業体験を行い、キャリアプランを考えることを目指します。
【到達目標】	働く心構えやマナーを身につける 自己のキャリア形成を考える

	就業体験を今後の学生生活に活かす							
【履修条件・受講推奨者】	自発的に考え、行動できる方の参加を望む。							
【教育方法】	実習							
【指定教科書・参考資料等】	特になし							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法				
	心構えやマナーを身につける		30%	提出書類、実習先からの評価などから総合的に判断する。				
	自己のキャリア形成を考える		40%					
	就業体験を今後の学生生活に活かす		30%					
	合計		100%					
【その他の注意事項】	自らウェブ等でエントリーし、実習を受ける。大学が関わるプログラムについては学内で説明会を行うことがあるので、必ず参加すること。単位認定を希望する場合は、キャリア支援室に参加の申し込み、連絡、相談等を必ず行うこと。基本的に、事前の研修、30時間以上の就業体験、事後の振り返りと書類提出によって1単位を認定し、最大4単位まで認定が可能。また複数の企業での実習時間を合算することができる。なお、報酬のあるインターンシップは単位認定されない。不明な点は必ずキャリア支援室で確認すること。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	参加手続き	参加の手続きを行う。					
		予習内容(時間)	業界研究、企業研究を行っておく。マナーを可能な限り身につけておく				120	分
		復習内容(時間)	業界研究、企業研究を行っておく。マナーを可能な限り身につけておく				120	分
	No2	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	業界研究、企業研究を行っておく。マナーを可能な限り身につけておく				120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
	No3	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
	No4	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
	No5	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
	No6	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
	No7	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No8	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No9	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No10	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No11	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No12	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No13	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No14	実習の振り返り	参加報告書の作成、提出		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返る。	120	分
		復習内容(時間)	これまでの講義を振り返り、レポートを作成し、提出する。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	認定科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	インターンシップⅡ
講義名(英字)	InternshipⅡ
担当教員	認定
必修/選択	なし
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	実際の企業や団体で就業体験を行い、キャリアプランを考えることを目指します。
【到達目標】	働く心構えやマナーを身につける 自己のキャリア形成を考える

	就業体験を今後の学生生活に活かす							
【履修条件・受講推奨者】	自発的に考え、行動できる方の参加を望む。							
【教育方法】	実習							
【指定教科書・参考資料等】	特になし							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法				
	心構えやマナーを身につける		30%	提出書類、実習先からの評価などから総合的に判断する。				
	自己のキャリア形成を考える		40%					
	就業体験を今後の学生生活に活かす		30%					
	合計		100%					
【その他の注意事項】	自らウェブ等でエントリーし、実習を受ける。大学が関わるプログラムについては学内で説明会を行うことがあるので、必ず参加すること。単位認定を希望する場合は、キャリア支援室に参加の申し込み、連絡、相談等を必ず行うこと。基本的に、事前の研修、30時間以上の就業体験、事後の振り返りと書類提出によって1単位を認定し、最大4単位まで認定が可能。また複数の企業での実習時間を合算することができる。なお、報酬のあるインターンシップは単位認定されない。不明な点は必ずキャリア支援室で確認すること。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	参加手続き	参加の手続きを行う。					
		予習内容(時間)	業界研究、企業研究を行っておく。マナーを可能な限り身につけておく				120	分
		復習内容(時間)	業界研究、企業研究を行っておく。マナーを可能な限り身につけておく				120	分
	No2	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	業界研究、企業研究を行っておく。マナーを可能な限り身につけておく				120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
	No3	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
	No4	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
	No5	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
	No6	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
	No7	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No8	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No9	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No10	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No11	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No12	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No13	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No14	実習の振り返り	参加報告書の作成、提出		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返る。	120	分
		復習内容(時間)	これまでの講義を振り返り、レポートを作成し、提出する。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	認定科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	インターンシップⅢ
講義名(英字)	Internship III
担当教員	認定
必修/選択	なし
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	実際の企業や団体で就業体験を行い、キャリアプランを考えることを目指します。
【到達目標】	働く心構えやマナーを身につける 自己のキャリア形成を考える

	就業体験を今後の学生生活に活かす							
【履修条件・受講推奨者】	自発的に考え、行動できる方の参加を望む。							
【教育方法】	実習							
【指定教科書・参考資料等】	特になし							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法				
	心構えやマナーを身につける		30%	提出書類、実習先からの評価などから総合的に判断する。				
	自己のキャリア形成を考える		40%					
	就業体験を今後の学生生活に活かす		30%					
	合計		100%					
【その他の注意事項】	自らウェブ等でエントリーし、実習を受ける。大学が関わるプログラムについては学内で説明会を行うことがあるので、必ず参加すること。単位認定を希望する場合は、キャリア支援室に参加の申し込み、連絡、相談等を必ず行うこと。基本的に、事前の研修、30時間以上の就業体験、事後の振り返りと書類提出によって1単位を認定し、最大4単位まで認定が可能。また複数の企業での実習時間を合算することができる。なお、報酬のあるインターンシップは単位認定されない。不明な点は必ずキャリア支援室で確認すること。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	参加手続き	参加の手続きを行う。					
		予習内容(時間)	業界研究、企業研究を行っておく。マナーを可能な限り身につけておく				120	分
		復習内容(時間)	業界研究、企業研究を行っておく。マナーを可能な限り身につけておく				120	分
	No2	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	業界研究、企業研究を行っておく。マナーを可能な限り身につけておく				120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
	No3	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
	No4	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
	No5	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
	No6	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分
	No7	実習	実際の企業や団体で実習に参加する					
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす				120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No8	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No9	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No10	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No11	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No12	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No13	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No14	実習の振り返り	参加報告書の作成、提出		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返る。	120	分
		復習内容(時間)	これまでの講義を振り返り、レポートを作成し、提出する。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	認定科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	インターンシップⅣ
講義名(英字)	Internship Ⅳ
担当教員	認定
必修/選択	なし
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	実際の企業や団体で就業体験を行い、キャリアプランを考えることを目指します。
【到達目標】	働く心構えやマナーを身につける 自己のキャリア形成を考える

	就業体験を今後の学生生活に活かす								
【履修条件・受講推奨者】	自発的に考え、行動できる方の参加を望む。								
【教育方法】	実習								
【指定教科書・参考資料等】	特になし								
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	
	協働力	○	主張力	○	創造力	○			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法				
	心構えやマナーを身につける		30%		提出書類、実習先からの評価などから総合的に判断する。				
	自己のキャリア形成を考える		40%						
	就業体験を今後の学生生活に活かす		30%						
	合計		100%						
【その他の注意事項】	自らウェブ等でエントリーし、実習を受ける。大学が関わるプログラムについては学内で説明会を行うことがあるので、必ず参加すること。単位認定を希望する場合は、キャリア支援室に参加の申し込み、連絡、相談等を必ず行うこと。基本的に、事前の研修、30時間以上の就業体験、事後の振り返りと書類提出によって1単位を認定し、最大4単位まで認定が可能。また複数の企業での実習時間を合算することができる。なお、報酬のあるインターンシップは単位認定されない。不明な点は必ずキャリア支援室で確認すること。								
	週	テーマ	学習内容						
	No1	参加手続き	参加の手続きを行う。						
		予習内容(時間)	業界研究、企業研究を行っておく。マナーを可能な限り身につけておく					120	分
		復習内容(時間)	業界研究、企業研究を行っておく。マナーを可能な限り身につけておく					120	分
	No2	実習	実際の企業や団体で実習に参加する						
		予習内容(時間)	業界研究、企業研究を行っておく。マナーを可能な限り身につけておく					120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす					120	分
	No3	実習	実際の企業や団体で実習に参加する						
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす					120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす					120	分
	No4	実習	実際の企業や団体で実習に参加する						
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす					120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす					120	分
	No5	実習	実際の企業や団体で実習に参加する						
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす					120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす					120	分
	No6	実習	実際の企業や団体で実習に参加する						
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす					120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす					120	分
	No7	実習	実際の企業や団体で実習に参加する						
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす					120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No8	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No9	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No10	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No11	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No12	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No13	実習	実際の企業や団体で実習に参加する		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
		復習内容(時間)	実習内容を振り返り、次回に生かす	120	分
	No14	実習の振り返り	参加報告書の作成、提出		
		予習内容(時間)	実習内容を振り返る。	120	分
		復習内容(時間)	これまでの講義を振り返り、レポートを作成し、提出する。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	認定科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	自己開発 I
講義名(英字)	Self-advancement I
担当教員	認定
必修/選択	なし
開講期	通年集中
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	本学の学生の自立心養成、キャリア形成を支援するための一環として、学生自身が本学の教育理念に基づき、資格の取得、ボランティア活動などの学外で修得してきた一定の学習成果に対して単位を認定するものである。
【単位認定資 格】	本学在籍期間中に取得した学生要覧の「技能審査の対象資格・検定表」に記載されている資格が単位認定の対象となる。ただし、取得後3か月以内に単位認定の申請をすることが必要となる。なお当該年度の1月末実までの申請については、その年度の「自己開発」科目の単位として、それ以降の申請については次年度の単位として認定する。

【ボランティア活動】	担当教員に「参加申請書類」を提出し、担当教員の承認を得たボランティア活動を「単位を認定するボランティア」とする。活動期間は通算5日、40時間以上とする。 承認後、すみやかに「賠償責任保険」に加入し、活動終了後、2週間以内に「単位認定申請書」に受入先または仲介先の発行するボランティア活動修了証あるいは証明書(写しでも可)を添えて担当教員に届け出るものとする。							
【その他】	語学留学、日経講座							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合						評価方法	
	認定活動の内容に従って評価する							
	合計					100%		
【その他の注意事項】	本科目における「単位認定のプロセス」や「修得可能な単位数」、「技能審査の対象資格・検定表」などについては、『学生要覧』を参照してください。							

[前画面へ戻る](#)

分野系列	認定科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	自己開発Ⅱ
講義名(英字)	Self-advancement II
担当教員	認定
必修/選択	なし
開講期	通年集中
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	本学の学生の自立心養成、キャリア形成を支援するための一環として、学生自身が本学の教育理念に基づき、資格の取得、ボランティア活動などの学外で修得してきた一定の学習成果に対して単位を認定するものである。
【単位認定資格】	本学在籍期間中に取得した学生要覧の「技能審査の対象資格・検定表」に記載されている資格が単位認定の対象となる。ただし、取得後3か月以内に単位認定の申請をすることが必要となる。なお当該年度の1月末実までの申請については、その年度の「自己開発」科目の単位として、それ以降の申請については次年度の単位として認定する。

【ボランティア活動】	担当教員に「参加申請書類」を提出し、担当教員の承認を得たボランティア活動を「単位を認定するボランティア」とする。活動期間は通算5日、40時間以上とする。 承認後、すみやかに「賠償責任保険」に加入し、活動終了後、2週間以内に「単位認定申請書」に受入先または仲介先の発行するボランティア活動修了証あるいは証明書(写しでも可)を添えて担当教員に届け出るものとする。							
【その他】	語学留学、日経講座							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合						評価方法	
	認定活動の内容に従って評価する							
	合計					100%		
【その他の注意事項】	本科目における「単位認定のプロセス」や「修得可能な単位数」、「技能審査の対象資格・検定表」などについては、『学生要覧』を参照してください。							

[前画面へ戻る](#)

分野系列	認定科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	自己開発Ⅲ
講義名(英字)	Self-advancement III
担当教員	認定
必修/選択	なし
開講期	通年集中
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	本学の学生の自立心養成、キャリア形成を支援するための一環として、学生自身が本学の教育理念に基づき、資格の取得、ボランティア活動などの学外で修得してきた一定の学習成果に対して単位を認定するものである。
【単位認定資 格】	本学在籍期間中に取得した学生要覧の「技能審査の対象資格・検定表」に記載されている資格が単位認定の対象となる。ただし、取得後3か月以内に単位認定の申請をすることが必要となる。なお当該年度の1月末実までの申請については、その年度の「自己開発」科目の単位として、それ以降の申請については次年度の単位として認定する。

【ボランティア活動】	担当教員に「参加申請書類」を提出し、担当教員の承認を得たボランティア活動を「単位を認定するボランティア」とする。活動期間は通算5日、40時間以上とする。 承認後、すみやかに「賠償責任保険」に加入し、活動終了後、2週間以内に「単位認定申請書」に受入先または仲介先の発行するボランティア活動修了証あるいは証明書(写しでも可)を添えて担当教員に届け出るものとする。							
【その他】	語学留学、日経講座							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合						評価方法	
	認定活動の内容に従って評価する							
	合計					100%		
【その他の注意事項】	本科目における「単位認定のプロセス」や「修得可能な単位数」、「技能審査の対象資格・検定表」などについては、『学生要覧』を参照してください。							

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	認定科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	自己開発Ⅳ
講義名(英字)	Self-advancement IV
担当教員	認定
必修/選択	なし
開講期	通年集中
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	本学の学生の自立心養成、キャリア形成を支援するための一環として、学生自身が本学の教育理念に基づき、資格の取得、ボランティア活動などの学外で修得してきた一定の学習成果に対して単位を認定するものである。
【単位認定資 格】	本学在籍期間中に取得した学生要覧の「技能審査の対象資格・検定表」に記載されている資格が単位認定の対象となる。ただし、取得後3か月以内に単位認定の申請をすることが必要となる。なお当該年度の1月末実までの申請については、その年度の「自己開発」科目の単位として、それ以降の申請については次年度の単位として認定する。

【ボランティア活動】	担当教員に「参加申請書類」を提出し、担当教員の承認を得たボランティア活動を「単位を認定するボランティア」とする。活動期間は通算5日、40時間以上とする。 承認後、すみやかに「賠償責任保険」に加入し、活動終了後、2週間以内に「単位認定申請書」に受入先または仲介先の発行するボランティア活動修了証あるいは証明書(写しでも可)を添えて担当教員に届け出るものとする。							
【その他】	語学留学、日経講座							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合						評価方法	
	認定活動の内容に従って評価する							
	合計					100%		
【その他の注意事項】	本科目における「単位認定のプロセス」や「修得可能な単位数」、「技能審査の対象資格・検定表」などについては、『学生要覧』を参照してください。							

[前画面へ戻る](#)

分野系列	認定科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	自己開発 V
講義名(英字)	Self-advancement V
担当教員	認定
必修/選択	なし
開講期	通年集中
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	本学の学生の自立心養成、キャリア形成を支援するための一環として、学生自身が本学の教育理念に基づき、資格の取得、ボランティア活動などの学外で修得してきた一定の学習成果に対して単位を認定するものである。							
【単位認定資格】	本学在籍期間中に取得した学生要覧の「技能審査の対象資格・検定表」に記載されている資格が単位認定の対象となる。ただし、取得後3か月以内に単位認定の申請をすることが必要となる。なお当該年度の1月末実までの申請については、その年度の「自己開発」科目の単位として、それ以降の申請については次年度の単位として認定する。							
【ボランティア活動】	担当教員に「参加申請書類」を提出し、担当教員の承認を得たボランティア活動を「単位を認定するボランティア」とする。活動期間は通算5日、40時間以上とする。 承認後、すみやかに「賠償責任保険」に加入し、活動終了後、2週間以内に「単位認定申請書」に受入先または仲介先の発行するボランティア活動修了証あるいは証明書(写しでも可)を添えて担当教員に届け出るものとする。							
【その他】	語学留学、日経講座							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事】	評価項目と割合						評価方法	
	認定活動の内容に従って評価する							

項(試験方法、
単位修得要
件)

合計

100%

【その他の注意
事項】

本科目における「単位認定のプロセス」や「修得可能な単位数」、「技能審査の対象資格・検定表」などについては、『学生要覧』を参照してください。

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	認定科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	自己開発VI
講義名(英字)	Self-advancement VI
担当教員	認定
必修/選択	なし
開講期	通年集中
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	本学の学生の自立心養成、キャリア形成を支援するための一環として、学生自身が本学の教育理念に基づき、資格の取得、ボランティア活動などの学外で修得してきた一定の学習成果に対して単位を認定するものである。							
【単位認定資格】	本学在籍期間中に取得した学生要覧の「技能審査の対象資格・検定表」に記載されている資格が単位認定の対象となる。ただし、取得後3か月以内に単位認定の申請をすることが必要となる。なお当該年度の1月末実までの申請については、その年度の「自己開発」科目の単位として、それ以降の申請については次年度の単位として認定する。							
【ボランティア活動】	担当教員に「参加申請書類」を提出し、担当教員の承認を得たボランティア活動を「単位を認定するボランティア」とする。活動期間は通算5日、40時間以上とする。 承認後、すみやかに「賠償責任保険」に加入し、活動終了後、2週間以内に「単位認定申請書」に受入先または仲介先の発行するボランティア活動修了証あるいは証明書(写しでも可)を添えて担当教員に届け出るものとする。							
【その他】	語学留学、日経講座							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事】	評価項目と割合						評価方法	
	認定活動の内容に従って評価する							

項(試験方法、
単位修得要
件)

合計

100%

【その他の注意
事項】

本科目における「単位認定のプロセス」や「修得可能な単位数」、「技能審査の対象資格・検定表」などについては、『学生要覧』を参照してください。

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	簿記技能 I (日商3級) BE-A
講義名(英字)	Bookkeeping I
担当教員	福山 倫基
必修/選択	なし
開講期	集中前期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	本講義は、2023年度日商簿記3級、6月試験合格を目指す方のための講義です。そのため、「入門簿記Ⅰ・Ⅱ」の履修が終わっている、もしくはご自身で日商簿記3級の自学を行っている方を対象とします。 本講義では、検定試験特有の問題の解き方、及び素早く回答を行うためのテクニック、受講者の苦手とする設問に対する個別指導などを行います。次、次の点にご注意ください。それは、本講義を受けるだけで検定試験合格が出来るわけではないという点です。試験に合格するためには、自分で問題演習をこなす自学の時間が必須です。あくまで、本講義は検定試験全般の補助的な役割として活用してください。
	検定試験の各問の傾向を理解する

【到達目標】	仕訳問題に関して理解すること 精算表に関して理解すること									
【履修条件・受講推奨者】	日商簿記検定3級を6月に受験する学生									
【教育方法】	答案作成演習を中心に講義していく。流れとしては、答練→自己採点→解説の順に行う。									
【指定教科書・参考資料等】	開講時に指示する。									
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○		
	協働力		主張力		創造力					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法							
	期末試験	100%	左記の通り期末試験のみで評価する。							
	合計	100%								
【その他の注意事項】	解説中に私語をしないこと。									
	週	テーマ	学習内容							
	No1	ガイダンス	本講義の進め方や簿記検定試験についての説明を行います。資格試験を受ける人は是非参加ください。							
		予習内容(時間)	入門簿記で学習した内容の見直し					120	分	
		復習内容(時間)	ガイダンスを聞いて本講義・資格試験を受けるのであれば資料の見直し					120	分	
	No2	問1対策	仕訳問題で間違いやすい部分、新規論点を確認します。							
		予習内容(時間)	3級の仕訳問題範囲を一通り見ておく					180	分	
		復習内容(時間)	自分が苦手だと感じた仕訳演習を行う					180	分	
	No3	問3対策	決算整理手続きの資格試験的な解法をお伝えします。							
		予習内容(時間)	決算整理手続きの全体像を確認しておく					180	分	
		復習内容(時間)	一通り問3を解いてみる					120	分	
	No4	第1回答練	過去問をベースに答練を行います。							
		予習内容(時間)	自分に必要な部分の演習					120	分	
		復習内容(時間)	復習					120	分	
	No5	第1回答練解説	実施した答練の解説を行います。							
		予習内容(時間)	自分に必要な部分の演習					120	分	
		復習内容(時間)	解説を聞いた後、間違えた部分をおさらい					120	分	
	No6	第2回答練	過去問答練の2回目です。							
		予習内容(時間)	自分が必要な部分の演習					180	分	
		復習内容(時間)	テストの見返し					120	分	
	No7	第2回答練解説	2回目答練の解説を行います。							
		予習内容(時間)	解いた内容の見返し					120	分	
		復習内容(時間)	自分が間違えた部分の復習					120	分	

【授業計画】	No8	第3回答練	予想問題を使った答練の1回目です。これ以降に実施する答練で必ず1回は自分の力で70点以上取れるように、自学を進めていきましょう。		
		予習内容(時間)	自分に必要な部分の演習	180	分
		復習内容(時間)	自己採点	120	分
	No9	第3回答練解説	解説の実施を行います。解説を受ける前に自己採点をこの回から行う練習もおきましょう。資格試験を受けた後に、自分で合格できたかどうか解答速報を元に判断する練習にもなります。		
		予習内容(時間)	自己採点後の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	自己採点と間違えた部分の復習	120	分
	No10	第4回答練	予想問題の答練2回目		
		予習内容(時間)	自分に必要な部分の演習	180	分
		復習内容(時間)	自己採点	120	分
	No11	第4回答練の解説	自己採点と解説		
		予習内容(時間)	自己採点後の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	自己採点と間違えた部分の復習	120	分
	No12	第5回答練	予想問題を使った答練3回目		
		予習内容(時間)	自分に必要な部分の演習	180	分
		復習内容(時間)	自己採点	120	分
	No13	第5回答練解説	自己採点と解説		
		予習内容(時間)	自己採点後の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	自己採点と間違えた部分の復習	120	分
	No14	資格試験に合格できなかった学生向けの期末試験	資格試験に合格できなかった学生のための期末試験を実施します。		
		予習内容(時間)	自分に必要な部分の学習	180	分
		復習内容(時間)	テストの振り返り	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	1年
講義名	簿記技能Ⅱ(日商2級) BE-K
講義名(英字)	Bookkeeping Ⅱ
担当教員	福山 倫基
必修/選択	なし
開講期	集中後期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	本講義は、2023年度日商簿記2級、11月・2月試験合格を目指す方のための講義です。そのため、「商業簿記Ⅰ・Ⅱ」及び「工業簿記Ⅰ・Ⅱ」の履修が終わっている、もしくはご自身で日商簿記2級の自学を行っている方を対象とします。 本講義では、検定試験特有の問題の解き方、及び素早く回答を行うためのテクニック、受講者の苦手とする設問に対する個別指導などを行い、次点の点にご注意ください。それは、本講義を受けるだけで検定試験合格が出来るわけではないという点です。試験に合格するためには、自分で問題演習をこなす自学の時間が必須です。あくまで、本講義は検定試験全般の補助的な役割として活用してください。
	検定試験の各問の傾向を理解する

【到達目標】	財務会計領域の資格試験問題の傾向と解法を理解すること 管理会計領域の資格試験問題の傾向と解放を理解すること							
【履修条件・受講推奨者】	日商簿記検定2級を11月に受験する学生							
【教育方法】	答案作成演習を中心に講義していく。流れとしては、答練→自己採点→解説の順に行う。							
【指定教科書・参考資料等】	開講時に指示する。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力		創造力			
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	評価項目と割合		評価方法					
	期末試験	100%	左記の通り期末試験のみで評価する。					
	合計	100%						
【その他の注意事項】	解説中に私語をしないこと。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	ガイダンス	本講義の進め方や簿記検定試験についての説明を行います。資格試験を受ける人は是非参加ください。					
		予習内容(時間)	商業簿記・工業簿記で学習した内容の振り返り				300	分
		復習内容(時間)	ガイダンスを聞いて本講義・資格試験を受けるのであれば資料の見直し				180	分
	No2	財務会計領域の対策講座	2級で出題される仕訳並びに財務諸表関連の問題の傾向を解説していきます。					
		予習内容(時間)	2級の財務会計の範囲を一通り見ておく				180	分
		復習内容(時間)	自分が苦手だと感じた設問演習を行う				180	分
	No3	管理会計領域の対策鋼材	主に個別原価計算・総合原価計算・標準原価計算・直接原価計算がどのように出題されるかを解説していきます。					
		予習内容(時間)	管理会計領域のテーマごとの解放を参考書などで確認しておくこと				180	分
		復習内容(時間)	苦手なテーマを明確にすること				120	分
	No4	第1回答練	過去問をベースに答練を行います。					
		予習内容(時間)	自分に必要な部分の演習				180	分
		復習内容(時間)	復習				120	分
	No5	第1回答練解説	実施した答練の解説を行います。					
		予習内容(時間)	自己採点				120	分
		復習内容(時間)	解説を聞いた後、間違えた部分をおさらい				120	分
	No6	第1回答練質疑応答	1回目の答練の解説を聞いてもわからなかった部分を個別対応していきます。とにかく苦手な部分を少しづつつぶしていけるように、解説を聞いたもわからなかったら質問していきましょう。場合によっては、そのテーマの問題を個別に提示して練習していきます。					
		予習内容(時間)	解説の見返し				120	分
		復習内容(時間)	苦手としているテーマの復習				180	分
		第2回目答練	過去問をベースにした答練の2回目を実施します。					

【授業計画】	No7	予習内容(時間)	テスト前準備	180	分
		復習内容(時間)	自分が間違えた部分の復習	120	分
	No8	第2回目答練解説	自己採点と解説を実施します。		
		予習内容(時間)	自己採点	120	分
		復習内容(時間)	自分が間違えた個所の復習	120	分
		第2回目答練質疑応答	解説を聞いてもわからなかった箇所を個別対応します。		
	No9	予習内容(時間)	解説の振り返り	120	分
		復習内容(時間)	自分が苦手なテーマの復習	120	分
	No10	第3回目答練	予想問題を用いて答練を実施します。講師が本気で予想問題を作るので是非ご活用ください。		
		予習内容(時間)	自分に必要な部分の演習	180	分
		復習内容(時間)	テストで自信がない部分の見直し	120	分
	No11	第3回目答練解説	自己採点と解説を実施		
		予習内容(時間)	自己採点	120	分
		復習内容(時間)	自己採点と間違えた部分の復習	120	分
	No12	第3回目答練質疑応答	最後の質疑応答回答となります。ここまでに質疑応答せずとも済むように自学を進めるようにしてください。		
		予習内容(時間)	最後に質問したいテーマの洗い出し	180	分
		復習内容(時間)	資格試験を受ける前の最後の見直し	200	分
	No13	スラック回	12回目講義で時間が足りず質問できなかった方向けのスラックとします。		
		予習内容(時間)	質問したいテーマの洗い出し	180	分
		復習内容(時間)	資格試験を受ける前の最終調整	200	分
	No14	資格試験に合格できなかった学生向けの期末試験	資格試験に合格できなかった学生のための期末試験を実施します。		
		予習内容(時間)	自分に必要な部分の学習	200	分
		復習内容(時間)	テストの振り返り	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習 I E-大山
講義名(英字)	Event Practice I
担当教員	大山 利栄
必修/選択	なし
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習 I E-笠原
講義名(英字)	Event Practice I
担当教員	笠原 幸一
必修/選択	選択必修
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習 I E-上條
講義名(英字)	Event Practice I
担当教員	上條 典夫
必修/選択	なし
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習 I E-北原
講義名(英字)	Event Practice I
担当教員	北原 隆
必修/選択	選択必修
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習 I E-佐藤(潤)
講義名(英字)	Event Practice I
担当教員	佐藤 潤
必修/選択	選択必修
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合				評価方法			
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習 I E-佐藤(友)
講義名(英字)	Event Practice I
担当教員	佐藤 友紀子
必修/選択	選択必修
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習 I E-志塚
講義名(英字)	Event Practice I
担当教員	志塚 昌紀
必修/選択	選択必修
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習 I E-賽音
講義名(英字)	Event Practice I
担当教員	賽音吉雅
必修/選択	なし
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅱ E-大山
講義名(英字)	Event Practice II
担当教員	大山 利栄
必修/選択	なし
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅱ E-笠原
講義名(英字)	Event Practice II
担当教員	笠原 幸一
必修/選択	選択必修
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅱ E-上條
講義名(英字)	Event Practice II
担当教員	上條 典夫
必修/選択	選択必修
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅱ E-北原
講義名(英字)	Event Practice II
担当教員	北原 隆
必修/選択	選択必修
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合				評価方法			
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅱ E-佐藤(潤)
講義名(英字)	Event Practice II
担当教員	佐藤 潤
必修/選択	選択必修
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合				評価方法			
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅱ E-佐藤(友)
講義名(英字)	Event Practice II
担当教員	佐藤 友紀子
必修/選択	選択必修
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅱ E-志塚
講義名(英字)	Event Practice II
担当教員	志塚 昌紀
必修/選択	選択必修
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合				評価方法			
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅱ E-賽音
講義名(英字)	Event Practice II
担当教員	賽音吉雅
必修/選択	なし
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合				評価方法			
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅲ E-大山
講義名(英字)	Event Practice III
担当教員	大山 利栄
必修/選択	選択必修
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅲ E-笠原
講義名(英字)	Event Practice III
担当教員	笠原 幸一
必修/選択	なし
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅲ E-上條
講義名(英字)	Event Practice III
担当教員	上條 典夫
必修/選択	選択必修
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅲ E-北原
講義名(英字)	Event Practice III
担当教員	北原 隆
必修/選択	なし
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅲ E-佐藤(潤)
講義名(英字)	Event Practice III
担当教員	佐藤 潤
必修/選択	選択必修
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅲ E-佐藤(友)
講義名(英字)	Event Practice III
担当教員	佐藤 友紀子
必修/選択	選択必修
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅲ E-志塚
講義名(英字)	Event Practice III
担当教員	志塚 昌紀
必修/選択	選択必修
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合				評価方法			
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅲ E-賽音
講義名(英字)	Event Practice III
担当教員	賽音吉雅
必修/選択	なし
開講期	集中前期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅳ E-大山
講義名(英字)	Event Practice IV
担当教員	大山 利栄
必修/選択	選択必修
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎ イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅳ E-笠原
講義名(英字)	Event Practice IV
担当教員	笠原 幸一
必修/選択	なし
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎ イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅳ E-上條
講義名(英字)	Event Practice IV
担当教員	上條 典夫
必修/選択	なし
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎ イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅳ E-北原
講義名(英字)	Event Practice IV
担当教員	北原 隆
必修/選択	選択必修
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎ イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅳ E-佐藤(潤)
講義名(英字)	Event Practice IV
担当教員	佐藤 潤
必修/選択	選択必修
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎ イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅳ E-佐藤(友)
講義名(英字)	Event Practice IV
担当教員	佐藤 友紀子
必修/選択	なし
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎ イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅳ E-志塚
講義名(英字)	Event Practice IV
担当教員	志塚 昌紀
必修/選択	選択必修
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎ イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科
配当学年(履修対象)	2年
講義名	イベント実習Ⅳ E-賽音
講義名(英字)	Event Practice IV
担当教員	賽音吉雅
必修/選択	なし
開講期	集中後期
単位数	1

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	イベントは開催規模の大小にかかわらず、「決められた時」「決められた場所」に情報を共有する人々が集まるプロジェクトです。この事業を運営するには、専門的な技術と経験を持った専門職業者のチームによって実施されています。 イベント実習は、イベントの実施現場を体験することを目的とします。また運営スタッフは「人と人との関係性」が良好であることが求められます。「イベント実習」は、イベントスタッフの基本的な態度、行動のあり方等を学び、「就業力」を身につけます。							
【到達目標】	リアルなイベント参加体験による知識の広化 先達の話聞くことでイベントの今を知る知識の深化 イベント現場を体験することによる知識の具体化							
【履修条件・受 講推奨者】	イベント実習には主催者や関係者も多く、チームワークが大変重要となるため、遅刻・欠席などは厳禁です。快活に積極的に実習に取り組んでください。大人としての自覚と、リーダー精神を持って臨んでください。							
【教育方法】	実習への参加とレポート。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目 標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
	評価項目と割合			評価方法				
	集合時間や、担当部署など、決められていることを守							

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	る。	20%	演習態度(実習参加度・積極性など)、演習への貢献度、レポートなどで総合的に判断します。
	初めて出会う関係者や、来場者と積極的に交流できる。	20%	
	トラブルなどが起きても、現場を投げ出さず最後までやり切る。	30%	
	現場での反省や失敗を前向きに捉え、次に向けて改善できる。	30%	
	合計	100%	
【授業計画】	◎座学で学んだ「イベント学」を実地で体験し、「就業力」を身につけることを目的とします。		
	◎イベント実習は本学専任教員が企画、または実習受け入れ企業および団体などとの連携で行なうものとします。		
【その他の注意事項】	◎ イベント実習には以下の形式を含みます。 ゲスト講師を招き学内で行なう講義(もしくは対談)形式のもの 教員が引率して行なう、施設やイベントなどの見学 イベント現場での設営や運営作業を行なうもの		
	◎参加後レポートを提出することによって時間認定されます。		
【その他の注意事項】	◇イベント実習は土日・休祝日・休暇など、主に平常の授業時間以外に行われます。各自、アルバイトや各種行事と調整して参加してください。		
	◇予定されるイベントについての予習と実習準備を必ずしてください。 ◇実習案件によっては、交通費、食費、諸雑費がかかることがあります。 ◇学外での実習に備えて、全員学生用のインターンシップ保険に加入します。		

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	4年
講義名	論文指導(卒業論文) E-大山
講義名(英字)	Senior Thesis
担当教員	大山 利栄
必修/選択	なし
開講期	通年集中
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	専門演習での学習の総仕上げとして卒業論文の執筆の指導を行う。 専門演習での学習で関心を持った企業や社会にかかわる諸問題をテーマとして取り上げ、まずは先行研究の収集・分析し、仮説を構築する。加えて仮説を実証するためのアプローチを決めたうえで仮説を検証し、自らの研究の意義を確認するものである。							
【到達目標】	自ら研究の仮説を構築し、その仮説の実証に向けて資料を収集・分析することで論理的思考を修得する。 研究課題の社会的意義を踏まえ、広く問題意識を持った視点を修得する。							
【履修条件・受講推奨者】	「専門演習Ⅰ」の単位を修得し、「専門演習Ⅱ」を履修中の者。							
【教育方法】	個別指導だけでなく、専門演習内において発表し、ディスカッションも行うこともある。							
【指定教科書・参考資料等】	担当教員から適宜指示する。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法
	卒業論文の内容(20,000字以上)	100%	仮説に対する論証が明確かつ論理的に示されいてるかをもって評価する。
	合計	100%	

【授業計画】	週	学習内容
	春学期	1. 卒業論文の作成概要指導 2. 各自のテーマ決定の確認・助言 3. 論文の形式、構成の指導 4. テーマに関する資料・情報の収集法指導 5. 論文作成(中間)の指導 6. 中間発表
	秋学期	1. 卒業論文の作成概要指導 2. 各自のテーマ決定の確認・助言 3. 論文の形式、構成の指導 4. テーマに関する資料・情報の収集法指導 5. 論文作成(中間)の指導 6. 中間発表

【提出締切日】	提出締切日:2024年1月12日(金)15:00まで 提 出 先:学務部
---------	---

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	4年
講義名	論文指導(卒業論文) E-笠原
講義名(英字)	Senior Thesis
担当教員	笠原 幸一
必修/選択	なし
開講期	通年集中
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	専門演習での学習の総仕上げとして卒業論文の執筆の指導を行う。 専門演習での学習で関心を持った企業や社会にかかわる諸問題をテーマとして取り上げ、まずは先行研究の収集・分析し、仮説を構築する。加えて仮説を実証するためのアプローチを決めたうえで仮説を検証し、自らの研究の意義を確認するものである。							
【到達目標】	自ら研究の仮説を構築し、その仮説の実証に向けて資料を収集・分析することで論理的思考を修得する。 研究課題の社会的意義を踏まえ、広く問題意識を持った視点を修得する。							
【履修条件・受講推奨者】	「専門演習Ⅰ」の単位を修得し、「専門演習Ⅱ」を履修中の者。							
【教育方法】	個別指導だけでなく、専門演習内において発表し、ディスカッションも行うこともある。							
【指定教科書・参考資料等】	担当教員から適宜指示する。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法
	卒業論文の内容(20,000字以上)	100%	仮説に対する論証が明確かつ論理的に示されいてるかをもって評価する。
	合計	100%	

【授業計画】	週	学習内容
	春学期	1. 卒業論文の作成概要指導 2. 各自のテーマ決定の確認・助言 3. 論文の形式、構成の指導 4. テーマに関する資料・情報の収集法指導 5. 論文作成(中間)の指導 6. 中間発表
	秋学期	1. 卒業論文の作成概要指導 2. 各自のテーマ決定の確認・助言 3. 論文の形式、構成の指導 4. テーマに関する資料・情報の収集法指導 5. 論文作成(中間)の指導 6. 中間発表

【提出締切日】	提出締切日:2024年1月12日(金)15:00まで 提 出 先:学務部
---------	---

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	4年
講義名	論文指導(卒業論文) E-北原
講義名(英字)	Senior Thesis
担当教員	北原 隆
必修/選択	なし
開講期	通年集中
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	専門演習での学習の総仕上げとして卒業論文の執筆の指導を行う。 専門演習での学習で関心を持った企業や社会にかかわる諸問題をテーマとして取り上げ、まずは先行研究の収集・分析し、仮説を構築する。加えて仮説を実証するためのアプローチを決めたうえで仮説を検証し、自らの研究の意義を確認するものである。							
【到達目標】	自ら研究の仮説を構築し、その仮説の実証に向けて資料を収集・分析することで論理的思考を修得する。 研究課題の社会的意義を踏まえ、広く問題意識を持った視点を修得する。							
【履修条件・受講推奨者】	「専門演習Ⅰ」の単位を修得し、「専門演習Ⅱ」を履修中の者。							
【教育方法】	個別指導だけでなく、専門演習内において発表し、ディスカッションも行うこともある。							
【指定教科書・参考資料等】	担当教員から適宜指示する。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法
	卒業論文の内容(20,000字以上)	100%	仮説に対する論証が明確かつ論理的に示されいてるかをもって評価する。
	合計	100%	

【授業計画】	週	学習内容
	春学期	1. 卒業論文の作成概要指導 2. 各自のテーマ決定の確認・助言 3. 論文の形式、構成の指導 4. テーマに関する資料・情報の収集法指導 5. 論文作成(中間)の指導 6. 中間発表
	秋学期	1. 卒業論文の作成概要指導 2. 各自のテーマ決定の確認・助言 3. 論文の形式、構成の指導 4. テーマに関する資料・情報の収集法指導 5. 論文作成(中間)の指導 6. 中間発表

【提出締切日】	提出締切日:2024年1月12日(金)15:00まで 提 出 先:学務部
---------	---

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	4年
講義名	論文指導(卒業論文) B-佐藤(友)
講義名(英字)	Senior Thesis
担当教員	佐藤 友紀子
必修/選択	なし
開講期	通年集中
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	専門演習での学習の総仕上げとして卒業論文の執筆の指導を行う。 専門演習での学習で関心を持った企業や社会にかかわる諸問題をテーマとして取り上げ、まずは先行研究の収集・分析し、仮説を構築する。加えて仮説を実証するためのアプローチを決めたうえで仮説を検証し、自らの研究の意義を確認するものである。							
【到達目標】	自ら研究の仮説を構築し、その仮説の実証に向けて資料を収集・分析することで論理的思考を修得する。 研究課題の社会的意義を踏まえ、広く問題意識を持った視点を修得する。							
【履修条件・受講推奨者】	「専門演習Ⅰ」の単位を修得し、「専門演習Ⅱ」を履修中の者。							
【教育方法】	個別指導だけでなく、専門演習内において発表し、ディスカッションも行うこともある。							
【指定教科書・参考資料等】	担当教員から適宜指示する。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法
	卒業論文の内容(20,000字以上)	100%	仮説に対する論証が明確かつ論理的に示されいてるかをもって評価する。
	合計	100%	

【授業計画】	週	学習内容
	春学期	1. 卒業論文の作成概要指導 2. 各自のテーマ決定の確認・助言 3. 論文の形式、構成の指導 4. テーマに関する資料・情報の収集法指導 5. 論文作成(中間)の指導 6. 中間発表
	秋学期	1. 卒業論文の作成概要指導 2. 各自のテーマ決定の確認・助言 3. 論文の形式、構成の指導 4. テーマに関する資料・情報の収集法指導 5. 論文作成(中間)の指導 6. 中間発表

【提出締切日】	提出締切日:2024年1月12日(金)15:00まで 提 出 先:学務部
---------	---

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	応用科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	4年
講義名	論文指導(卒業論文) E-志塚
講義名(英字)	Senior Thesis
担当教員	志塚 昌紀
必修/選択	なし
開講期	通年集中
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	専門演習での学習の総仕上げとして卒業論文の執筆の指導を行う。 専門演習での学習で関心を持った企業や社会にかかわる諸問題をテーマとして取り上げ、まずは先行研究の収集・分析し、仮説を構築する。加えて仮説を実証するためのアプローチを決めたうえで仮説を検証し、自らの研究の意義を確認するものである。							
【到達目標】	自ら研究の仮説を構築し、その仮説の実証に向けて資料を収集・分析することで論理的思考を修得する。 研究課題の社会的意義を踏まえ、広く問題意識を持った視点を修得する。							
【履修条件・受講推奨者】	「専門演習Ⅰ」の単位を修得し、「専門演習Ⅱ」を履修中の者。							
【教育方法】	個別指導だけでなく、専門演習内において発表し、ディスカッションも行うこともある。							
【指定教科書・参考資料等】	担当教員から適宜指示する。							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法
	卒業論文の内容(20,000字以上)	100%	仮説に対する論証が明確かつ論理的に示されいてるかをもって評価する。
	合計	100%	

【授業計画】	週	学習内容
	春学期	1. 卒業論文の作成概要指導 2. 各自のテーマ決定の確認・助言 3. 論文の形式、構成の指導 4. テーマに関する資料・情報の収集法指導 5. 論文作成(中間)の指導 6. 中間発表
	秋学期	1. 卒業論文の作成概要指導 2. 各自のテーマ決定の確認・助言 3. 論文の形式、構成の指導 4. テーマに関する資料・情報の収集法指導 5. 論文作成(中間)の指導 6. 中間発表

【提出締切日】	提出締切日:2024年1月12日(金)15:00まで 提 出 先:学務部
---------	---

 前画面へ戻る